

2024.12.26

# 株式会社WCAの株式取得（子会社化） 補足説明資料

株式会社エイチーム（証券コード：3662）

# WEB広告運用代行事業を展開する株式会社WCAを 2024年12月26日に連結子会社化

本スライド資料は、2024年12月26日に開示した  
「株式会社WCAの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に関する追加資料です。

## アジェンダ

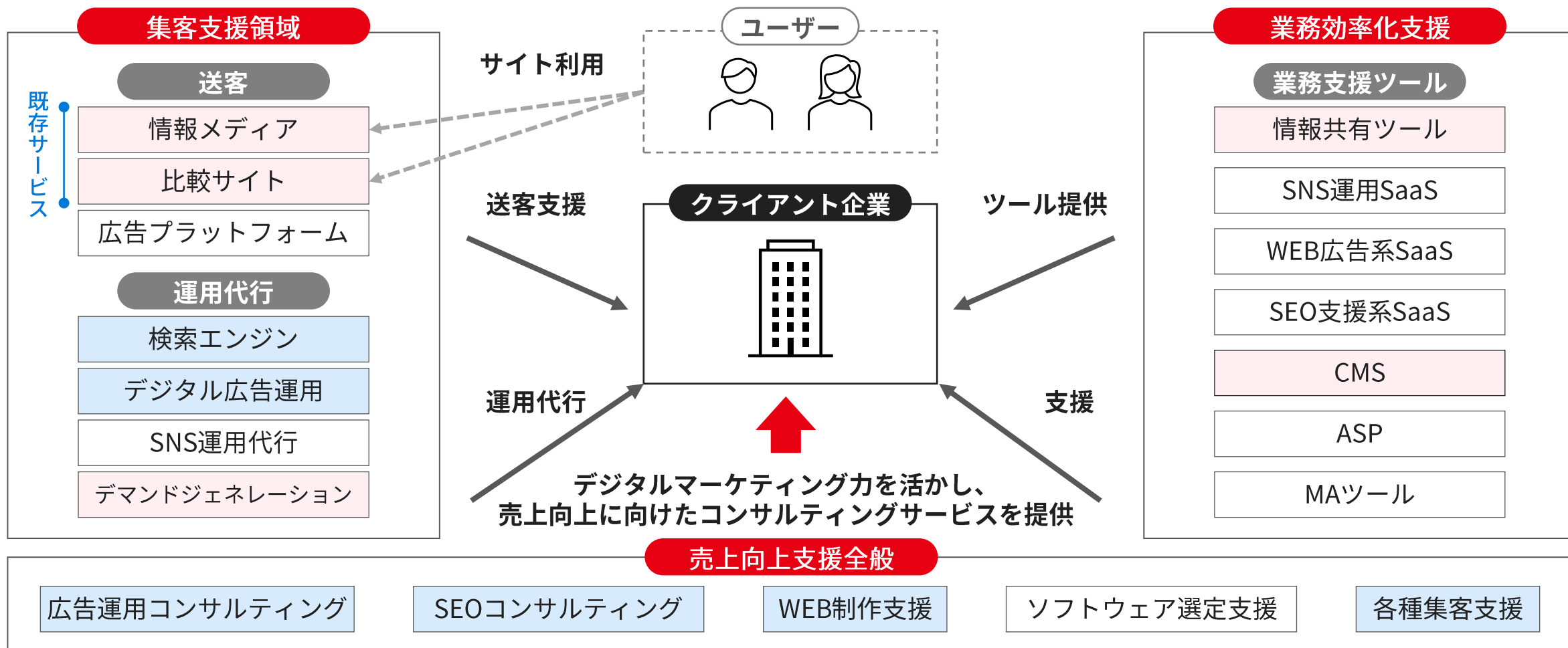
1. WCA社のM&Aにより期待する今後の事業シナジーと展望
2. WCA社の会社・事業についてのご紹介
3. 今後のM&Aの展望

# WCA社のM & Aにより期待する 今後の事業シナジーと展望

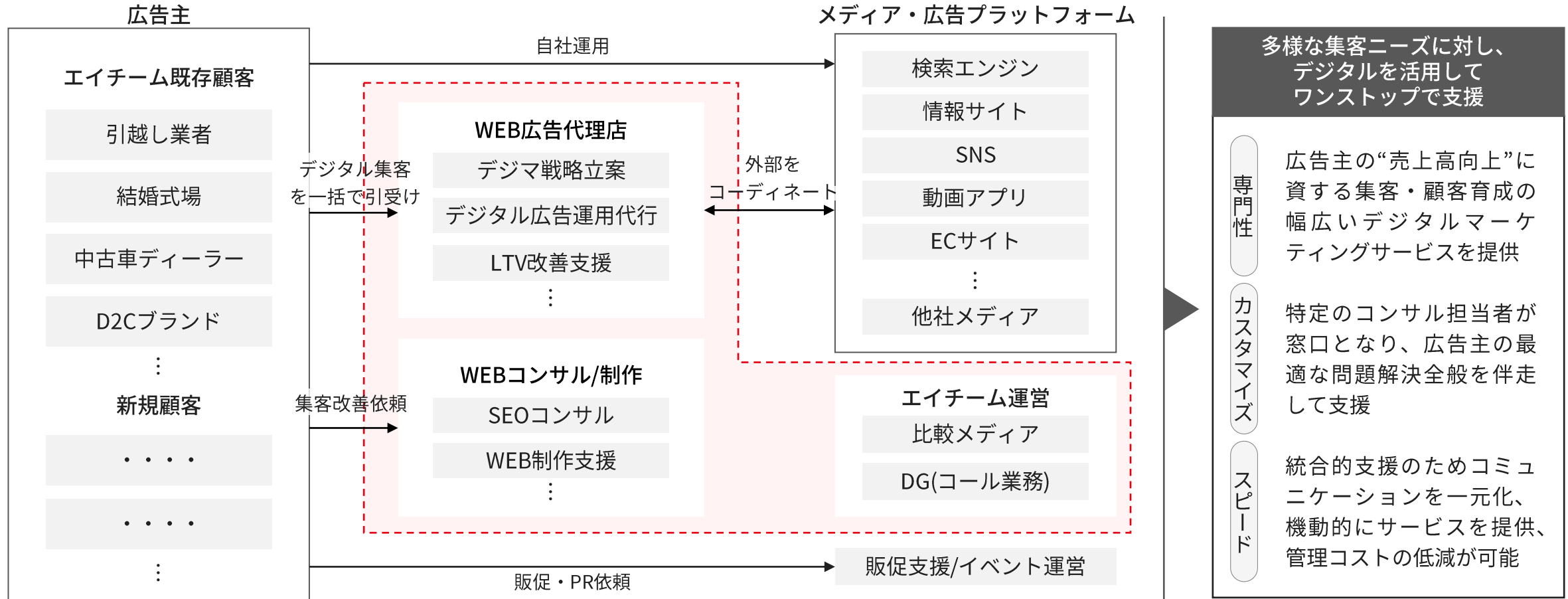
## 売上向上支援カンパニーへの連続的なM&Aの第一弾

1. 売上向上マーケティングにおける法人向けのデリバリー機能の拡充
2. 今後は、メディア×広告運用代行領域での事業シナジーの最大化を狙う
3. 比較サイト事業の運営企業のハウスエージェンシーとして創業したWCA社の出自

# 「売上向上支援カンパニー」のデリバリー機能であるWEB広告運用代行業を獲得



# デジタル広告運用代行・コンサルティング機能の獲得により、展開領域を拡張



# WCA社の子会社化により、集客支援に必要なオペレーション機能・能力を拡充

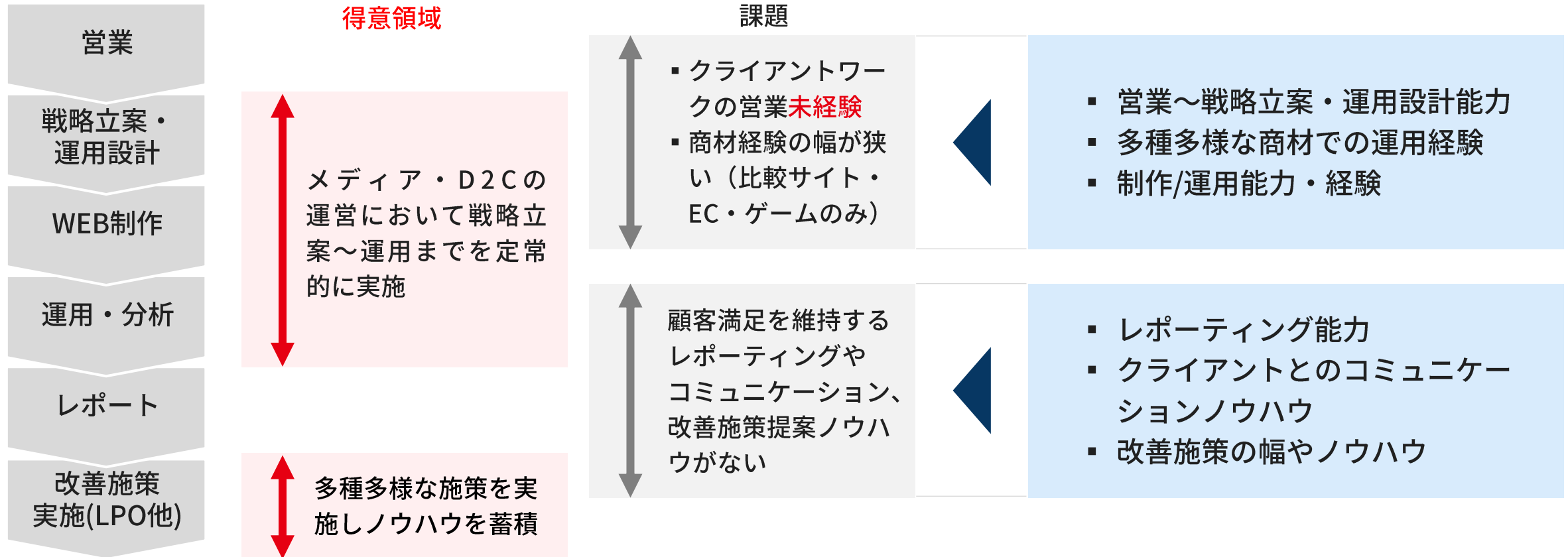
集客支援プロセス

エイチーム

当社が得意とする領域及び課題

WCA社

強化を期待する領域



- 今後は、メディア×広告運用代行領域での事業シナジーの最大化を狙う

## メディア運営で培った強み×営業・顧客管理ノウハウ等で事業シナジーを見込む

### エイチームの提供価値

### WCA社の提供価値



#### 高度な集客ノウハウ

メディア運用で培ったSEOやWEB広告運用などの高精度な集客・広告運用ノウハウ



#### クリエイティブ制作能力

メディア、バナー、LP（ランディングページ）、WEBサイト等の制作能力を内製化



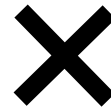
#### 顧客ネットワーク

メディア事業で獲得した集客ニーズを有する広範な顧客群



#### 徹底した最適化・改善プロセス

企画・制作・KPIモニタリング、改善の高速PDCAを実施



#### アカウント営業・管理ノウハウ

広告プランニング・レポートングを実施・管理する機能



#### コンサルティング能力

広告主の集客ニーズの把握能力、メディア以外の集客方法を提案する機能



#### 顧客ネットワーク

代理店活用ニーズを有する広告主のアカウント群



#### プロフェッショナル人材

営業、プランナー、広告運用、制作等のマネジメント～実務までのチーム

法人顧客に向けて、多様な売上向上に必要なソリューションをワンストップで提供



- 今後は、メディア×広告運用代行領域での事業シナジーの最大化を狙う

## WCA社のデリバリー機能の拡充により、WEB集客支援領域を強化



メディアによる集客支援に加え、  
広告運用代行などの支援を拡充

新規顧客へのWEB集客支援

当社のデジタルマーケティングノウハウ  
及び人員交流により、デジマ支援を強化

当社グループ運営  
業界トップクラスのシェアの各種メディア

引越し比較・  
予約サイト



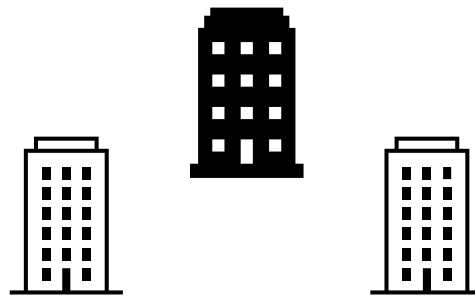
車査定・  
車買取サイト



結婚式場  
情報サイト



売上向上支援カンパニー化により  
新たに支援する法人企業



WCA社で取引実績がある  
各クライアント企業

自動車      ブライダル

教育関連      金融関連

小売大手      ECモール

etc...

## メディア×広告運用代行のシナジー最大化を裏付けるWCA社の特長

### 比較サイト事業の運営企業のハウスエージェンシーとして誕生したWCA社の出自

#### ハウスエージェンシー



当社サービスと類似する比較サイト事業を運営する企業のハウスエージェンシーとして創業

#### 約20年間の実績



デジタル広告の黎明期である2005年の創業以来、長年にわたり積み上げた広告運用ノウハウ

### 豊富な広告運用メニューのラインナップ 幅広いクライアントと企業への支援実績

リスティング  
広告

WEB  
広告運用

LP制作

純広告出稿

WEB  
コンサルティング

SEO対策

# WCA社の会社・事業についてのご紹介

## WEB広告運用代行やコンサルティングを展開する株式会社WCA

1. 商号	株式会社WCA
2. 所在地	東京都港区虎ノ門一丁目14番1号 郵政福祉琴平ビル4階
3. 代表者	代表取締役 青嶋 剛史
4. 事業内容	WEBマーケティング運用代行
5. 資本金	30百万円
6. 大株主	株式会社Eストアー（東証STD）100%保有
7. 人員数	50名（役員3名、正社員47名）
8. 取得株式数	2024年12月26日 24,000株（議決権数24,000個）
9. 取得価格	2024年12月26日 150百万円 デューデリジェンス費用等（概算額）3.8百万円 合計（概算額）153.8百万円



※ 2024年12月26日に開示した「株式会社WCAの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご参照ください。

VISION

ひとりひとりが  
ビジネスプロデューサー  
クライアントとともに、  
社会に感動を。



WCA INC.

年月	沿革
2005年 1月	中国投資ドットジェイピー株式会社（後のウェブクルーエージェント）、株式会社ウェブクルーの100%子会社として設立
2020年 2月	株式会社Eストアーが株式取得し、100%子会社化
2021年 9月	株式会社WCAに商号変更
2024年12月	株式会社エイチームの100%子会社へ

## WEBマーケティング運用代行・コンサル等のクライアントワークがメイン



# 今後のM & Aの展望

M&Aチームの体制強化により、対象企業との接触数及びトップ面談数が増加  
引き続き、活動量の増加及び加速化を図り、積極的なM&Aを遂行していく

	FY2024 累計	~FY2025 Q1 累計	増加率
1 接触企業数 IM (※1) 取得数を含む	177	205	+15.8%
2 トップ面談数	16	35	+118.8%
3 SPA/実行 <sup>※2</sup>	2	2	-

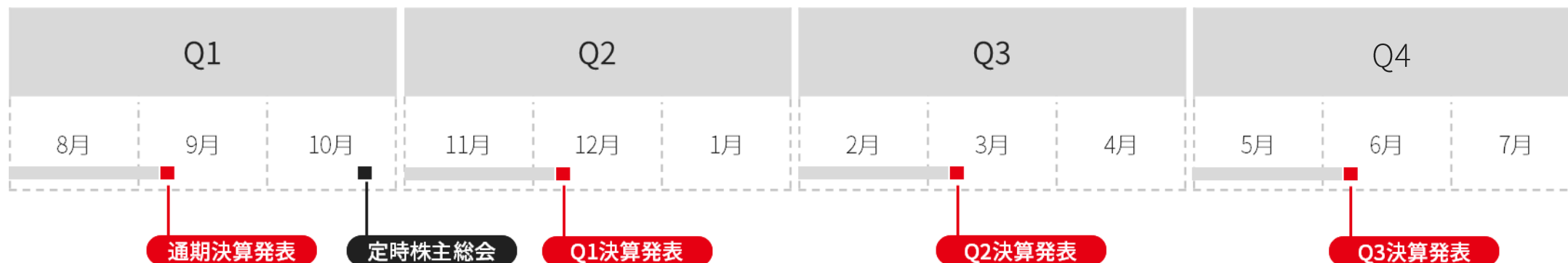
※1 : IM...Information Memorandum (企業概要書) ※2 : SPA...Stock Purchase Agreement (株式譲渡契約書)



## WEB広告代理店やコンサルティングがメインターゲット、引き続きM&Aを推進

業種	狙い	企業規模 (参考)	想定対価 (参考)
WEBマーケコンサル/ WEBマーケ運用代理店	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人向け支援サービスとしての型を当社グループに取り入れる</li> <li>メディア事業との連携によりクライアント企業の事業をさらに拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員数：50~100名</li> <li>営業利益（EBITDA）で、3~5億円程度</li> </ul>	30~億円
デジタルマーケティング SaaS	<ul style="list-style-type: none"> <li>得意とするテクノロジー領域でクライアント企業を支援する</li> <li>安定的な収益向上を実現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員数：10~30名</li> <li>営業利益（EBITDA）に加え、MRR成長も重視</li> </ul>	10~億円
送客メディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディア事業と連携してさらなる収益性を高める</li> <li>対象業種でクライアントリーチを獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員数：10~30名</li> <li>営業利益（EBITDA）で、1~5億円程度</li> </ul>	5~億円

## 年間スケジュール



## お問い合わせ先

株式会社エイチーム 社長室 IR

E-mail : [ir@a-tm.co.jp](mailto:ir@a-tm.co.jp)

ご意見 / ご質問 : [株主・投資家情報等に関するお問い合わせ](#)

- 株主・投資家情報 : <https://www.a-tm.co.jp/ir/>
- Shared Researchレポート : <https://sharedresearch.jp/ja/3662>
- Facebook Ateam IR ページ : <https://www.facebook.com/ateamir/>



# Creativity×Techで、 世の中をもっと便利に、もっと楽しくすること

Combining Creativity and Tech to Deliver More Convenience and More Fun to All

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報 (forward-looking statements)」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。